

第46回 国際キワニス日本地区年次総会「福島大会」

仮押えホテルのご案内

下記料金は、1泊料金となり、大人1名様（朝食付き、消費税込）

宿 泊 料 金		シングル禁煙	シングル喫煙	ツイン禁煙
①	ホテル 福島グリーンパレス	12,100	無	2名利用 22,000 1名利用 14,300
②	ザ・セレクトン福島	16,500	16,500	無
③	JR 東日本ホテルメッツ福島	15,400	無	無
④	ホテルルートイン Grand 福島駅前東口	15,400	15,400 ※電子タバコのみ	無
⑤	ホテルサンキョウ福島	13,200	13,200	無
⑥	リッチモンドホテル 福島駅前西口	12,100	無	2名利用 22,000

※ご宿泊日の1ヵ月前からキャンセル料が発生致します。

※禁煙・喫煙はお申込書にご記入願います。ご希望に沿えない場合もございます。

※満室等によりご希望に沿いかねる場合がございます。

※特定のホテルにお申し込みが偏ってご案内出来ない場合は同等のホテルをご提案致します。

※航空券・新幹線パック又はHP予約などがトータル金額で上記よりお得な場合もございますので、個々でのお手配もご検討ください。

福島の三大温泉地をご案内します 《各旅館は下記の URL から、各地の旅館検索が行えます》

各地とも福島駅より、車で30分程度です

○飯 坂 温 泉

<https://iizaka.com/info/>

飯坂温泉は、奥羽（東北）地方有数の古湯であり、古くは「鯖湖の湯」と呼ばれました。鳴子・秋保とともに奥州三名湯に数えられ、2世紀頃には日本武尊が東征の折に、1689年には俳聖 松尾芭蕉が奥の細道の途中に立ち寄ったとされる歴史ある温泉地です。福島市内から車で約20分、東北自動車道福島飯坂インターチェンジから約15分。東京駅から東北新幹線をご利用の場合、乗り換えが1回で、スムーズな乗り継ぎならば2時間半からずらずに到着するアクセスの良さも特徴の一つです。

摺上川とその支流赤川の流れを中央に大小さまざまな旅館が軒を並べています。宿泊はもちろん、日帰り温泉入浴のプランを提供している旅館も多くあります。また、温泉街には9つの共同浴場と4つの足湯があります。共同浴場は地元の皆さんが小さな頃から通う、言わば「生活の一部」。足湯には地元の子供達の姿も。飯坂温泉を訪れてくださるお客様が、地元の方々と思わぬ交流ができるかも知れません。

近郊には、果樹園が立ち並びフルーツラインがあり、個人、団体問わず、ご家族連れからシニア旅まで、四季を通じて果物王国福島の味覚を楽しむことができます。東北の名湯、飯坂温泉にぜひいらしてください。

○土 湯 温 泉

<https://www.tcy.jp/welcome/>

その昔、大穴貴命（おおあなむちのみこと）が荒川のほとりを鉢で突くとそこからこんこんと湯が湧いたことから「突き湯」と言う名がつけられた伝説があります。また、用明2年、病に倒れた聖徳太子の父、用明天皇の回復祈願と仏教布教のため東国に遣わされた秦河勝（はたのかわかた）が半身不随の病におかれ、良医良薬の効なく臥していたところ、ある夜、聖徳太子が夢枕に現れ「岩代国の突き湯に霊湯あり。そこで湯治せよ。」と説いたことから「突き湯」の名が広まり、やがて「土湯」と呼ばれるようになったという伝説もあります。聖徳太子が奉られている聖徳太子堂が土湯の名所として残っています。

○高 湯 温 泉

<http://www.takayuonsen.jp/virtue/>

「三日一廻り、三廻り十日」と言う高湯湯治に必要な日数を示す。ひと廻りで身体を湯にならし、ふた廻りで身体の悪い部分がとれ、参廻りで調子が改善されるのだと言う。高湯の底力を愉しむには少なくとも参廻り、十日間かかるという説である。すなわち高湯に来たら、どんな無精者も「三日坊主」は浸かり損ということになる。その日の体調・癒処に合わせ急がず慌てずのんびり湯と向き合うことが高湯遊びの醍醐味。凜と清らかな山麓の精気を魂の馳走に、朝な夕な温泉街の鄙道をぶらぶらと昇っては降り、ときわすれの贅にとっぷりひたる。かつて米味噌布団を担ぎ馬の背に揺られ出向いた山の湯の逗留。ゆるやかな往時の刻の流れに心を重ね、文豪気分で洒落に過ごすも一興か。「参廻り目の、正直」—— 高湯温泉。

※温泉各宿泊は各自でお手配願います。